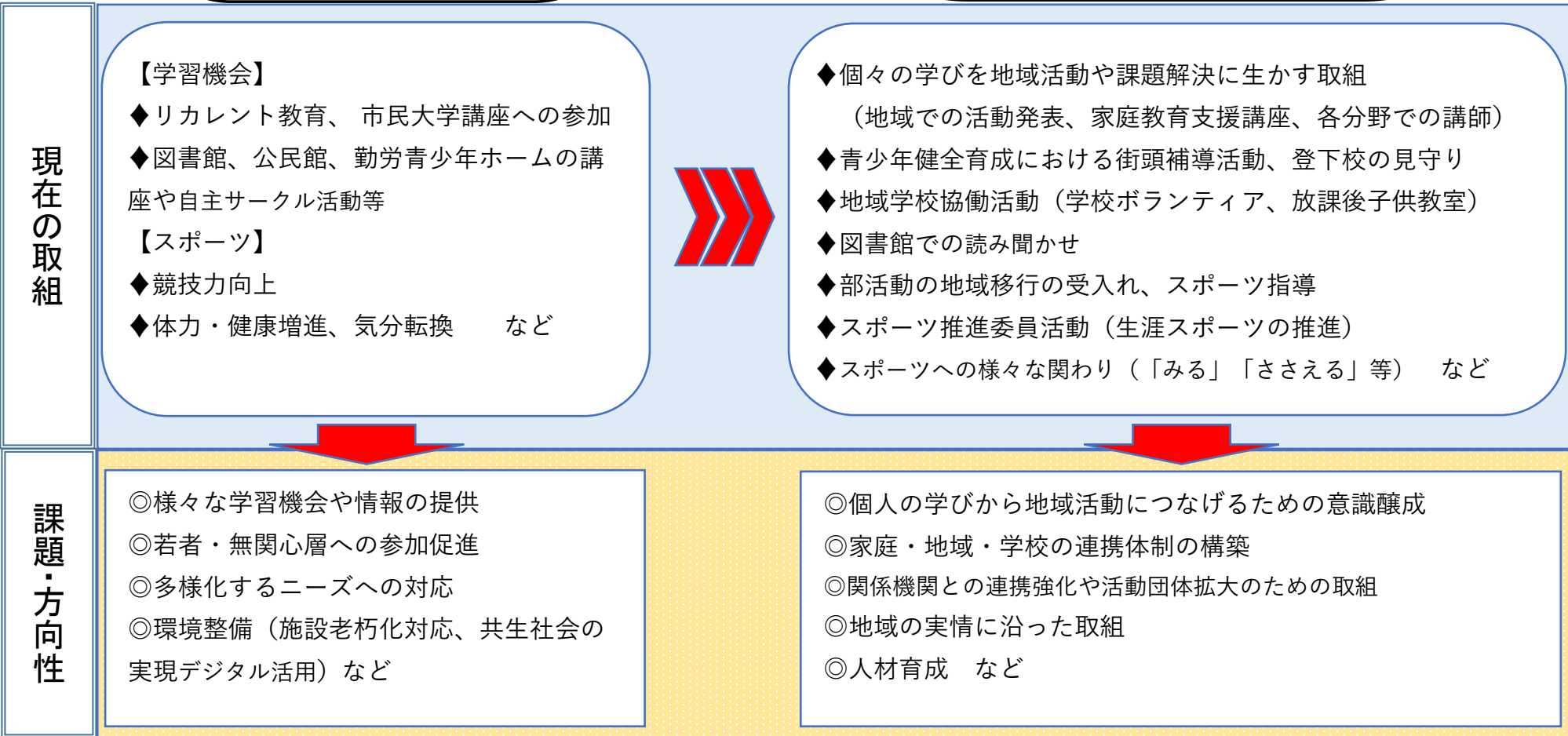


獲得型ウエルビーイング
(自己肯定感、自己実現など)

協調的ウエルビーイング
(人とのつながり、社会貢献意識、利他性など)



個人の幸せや生きがいでだけでなく、社会全体が豊かになる
持続可能なウエルビーイングへの取組が重要

アートでつながる

尾道市立美術館普及事業の取り組み

なぜ普及事業を行うのか？

- 美術館に来てもらうきっかけづくり → ワークショップ、ミュージアムコンサート、こどもと大人の鑑賞会 など
- 音楽など別ジャンルのファンの取り込み → ミュージアムコンサート、講演会 など
- 次世代の観覧者の育成 → ワークショップ、ミュージアムコンサート、こどもと大人の鑑賞会 など
- 展覧会をより深く理解してもらうため → 講演会、ギャラリートーク など
- 美術館の活動を市民に理解してもらうため

教育普及の及ぼす効果・メリット

- 子ども達と美術館の未来が つながる
- アートと市民が つながる
- 音楽や歴史文化等、他のジャンルと美術が つながる
- 他の組織と つながる 学校、大学、市の組織、地元の企業 ...
- 地域と つながる
- 美術館が つながる → 尾道市美術館ネットワーク

教育普及事業は

比較的低予算で実施することが出来、様々な展開を行うことができる。

普及事業について

根拠

○博物館法第2条(定義)

「この法律において『博物館』とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、**その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い・・・**」

○博物館法第3条（事業）

七 博物館資料に関する**講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し**、及びその開催を援助すること。
十一 学校、図書館、研究所、公民館等の**教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し**、その活動を援助すること。

○尾道市立美術館設置及び管理条例

第2条（事業）

- (3) 美術作品等に関する**展覧会、講演会、講習会、研修会等の主催**及び開催の援助に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的に資すると認められること。

◆ オープニング講演会

◆ ギャラリートーク



◆ こどもと大人の鑑賞会

子ども向けの鑑賞資料を作成し、.....➡
市内の小学校に配布。

展覧会中の「こどもと大人の鑑賞会」
開催日に鑑賞資料の提示で、
保護者1名が無料となる。

- 学校行事等では事前の申請により、
引率者も無料になる。
- 希望があれば学芸員等による解説や
鑑賞マナーの説明も行う。



◆ 偏光板アートプロジェクト

地元企業と連携し、偏光板を使用した
アートの展示やWSを開催。
キッズデザイン賞を受賞。



KIDS
DESIGN
AWARD
2024

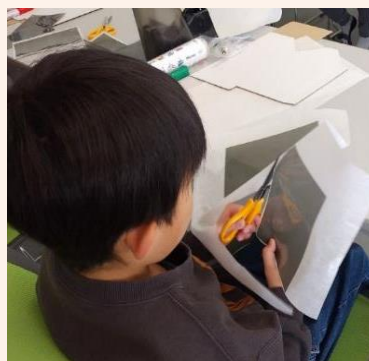
第18回キッズデザイン賞
子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

日東硝子株式会社 坂
尾頭市立大学 坂
尾頭市立美術館 坂
尾頭市教育委員会 坂

作品名
偏光板アートプロジェクト

この作品は子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門において
優秀と認められましたのでこれを賞します

特定非営利活動法人
キッズデザイン協議会 会長 **坂井 和則**



◆ 日本画ワークショップ

尾道大学、教育支援センターと連携し、
学校に行きにくい児童生徒を対象とした
「得意なことを一緒にやりましょう」
体験を開催。



尾道市立大学から講師の先生をお招きし、
日本画で使用する「岩絵の具」を用い、
自分のお気に入りの絵に色を塗って、
世界に一つだけの「絵」を
完成させましょう！
絵の絵を黒で描きたいが
先えておいてね！

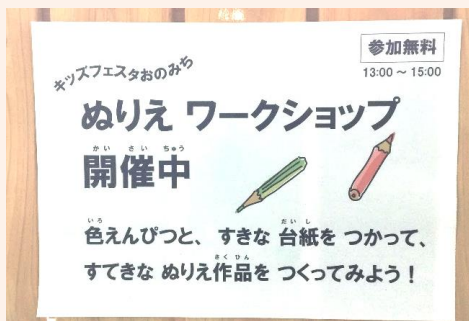
第2回「得意なこと一緒にやりましょう」体験
日時：令和5年9月15日(金)
10:00～11:45
場所：尾道市立美術館 2階
「好きな絵に岩絵の具で彩色しよう♪」を
一緒に楽しもう！やってみよう！



◆ 色鉛筆ワークショップ

「超・色鉛筆アート展」に合わせて開催

キッズフェスタ ぬりえワークショップ

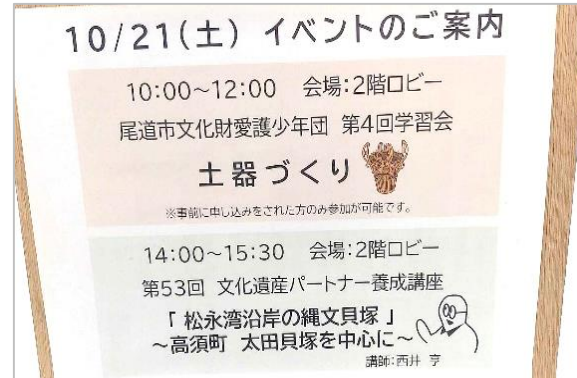


色鉛筆画家による ワークショップ



● 文化財との連携

シュシ・スライマン展



海からの贈りもの展



◆ ミュージアムコンサート

こどもと大人の コンサート



灯りまつり ミュージアム・コンサート



- 尾道市美術館ネットワーク 市内6つの美術館がネットワークを形成。

「おのみちミュージアムナビ」の発行



「平山郁夫美術館賞絵画コンクール」の開催



教育普及プログラム

「ミッション・イン・ミュージアム」の実施



普及事業を継続するために

- 何を伝えたいか目的を明確にする。
- どうすれば伝わるか方法を考える。

一つの作品から…
技法、色、構図、作者、
歴史的背景 等々 様々なこと
を伝えることができる。

でも、予算も人材も不足気味…

- 既存の事業を活用する。
- 他の組織の事業とタイアップする。
- 地域の人材や組織・企業を活用する。

● プラットフォームとしての役割

